

ちば里山カレッジ実施報告書 (6)

特定非営利活動法人ちば里山センター

テーマ	<p>第6回 講義&フィールド研修 「安全な里山整備作業の為の知識と技能の習得」</p> <p>講義：「安全配慮義務について」 「リスクアセスメントと危険予知」</p> <p>実習：「刈払機、チェーンソーの整備・正しい使い方」</p>
日時	平成25年11月23日(土) 9:00~16:00
場所	ちば里山センター 会議室 & フィールド
出席者	<p>受講生33名</p> <p>講師：千葉県森林組合君津支部 木村 正敏 講師：千葉県森林組合君津支部 竹ノ内 嗣 講師：房総森輪会 岡部 正史</p> <p>アシスタント講師：特定非営利活動法人ちば里山センター 高橋和靖 副理事長 " 鶴岡清次 理事 " 風間俊雄 理事</p>
内容	<p>① 木村講師による講義「安全配慮義務について」 資料に基づき「林業における労働安全について」「新規就労者への配慮」の講義をうけた。林業における労働災害の実情とその防止のために必要な行動についてのお話は非常に重要なことと受け止めた、 不安全行動災害をなくすために危険予知・作業中の集中・危険回避の行動など気をつけなければならない事柄を具体的に知ることができた。 指差し呼称の練習では大声で実施していた。</p> <p>② 班ごとにわかれグループミーティング「KYTの進め方トレーニング」を実施。 チーム名を決めリーダーと書記を選び、与えられた状況を基に4R法式で活発に意見を出し合った。話し合った結果をまとめ模造紙に記入、発表した。チームごとに決めた指差し呼称を披露。今後の実習のはじめに実施することとなった。</p> <p>③ 午後は外で「刈払機、チェーンソーの整備・正しい使い方」の実習。 チームごとに講師とアシスタント講師の説明をききながら、刈払機、チェーンソーの整備を行った。 初めて整備をする人もいて、真剣に指導を受けていた。</p>
備考	昼休みにはチームごとに食事をし、自己紹介と交流の場として親睦を図った。

添付資料（写真）



木村講師



講義



指差し呼称練習



呼称（肩を組む）



呼称（手を重ねる）



ビデオ（振動障害を予防するために）



グループミーティング KYT



1班（山ビールチーム）



2班（けやきチーム）



3班（C調チーム）



午後の実習



チェーンソーの整備



竹ノ内講師の指導



女性軍も



岡部講師の指導